

## 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程

(目的及び意義)

第1条 この規程は、社会福祉法人神愛ホーム(以下「この法人」という。)の定款第8条及び第21条の規定に基づき、役員及び評議員の報酬並びに費用弁償(以下「報酬等」という。)に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 常勤役員とは、役員のうち、この法人を主たる勤務場所とする者をいう。常勤役員のうち、理事は常勤理事という。
- (3) 非常勤役員とは、役員等のうち、常勤役員以外の者をいう。
- (4) 評議員とは、定款第5条に基づき置かれる者をいう。
- (5) 報酬とは、社会福祉法第45条の35第1項で定める報酬賞与其他の法人と委任関係にある役員及び評議員等職務執行の対価として受ける財産上の利益であって、その名称の如何を問わない。
- (6) 費用とは、職務遂行に伴い発生する交通費、旅費(宿泊費を含む)等の経費をいう。報酬とは明確に区分されるものとする。

(報酬の支給)

第3条 この法人は、役員に職務執行の対価として報酬を支給することができる。

- 2 評議員には、定款第8条で定める金額の範囲内で、報酬を支給することができる。
- 3 常勤理事で使用者としての立場を有する者に対しては、報酬は支給しない。

(年間報酬総額)

第4条 この法人の全理事の報酬総額は、年間45万円以内とする。

- 2 この法人の全監事の報酬総額は、年間25万円以内とする。

(理事会及び評議員会の出席報酬等)

第5条 理事長及び業務執行理事(以下「理事長等」という。)並びに理事が理事会に出席したときは、別表1により1日分の報酬及び実費弁償費を支払うことができる。なお、同日にあわせて法人の業務を行った場合であっても、第6条の報酬及び実費弁償費はこれを支払わないものとする。

- 2 評議員が評議員会に出席したときは、別表1により1日分の報酬及び実費弁償費を支払うことができる。
- 3 交通費の実費が、実費弁償費の額を超える場合には、その実費とする。

(勤務報酬等)

第6条 理事及び監事が理事会(出席)以外の日において、理事長等の命を受けて法人及び施設の運営のための業務にあたった場合は、別表2により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。

- 2 交通費の実費が、実費弁償費の額を超える場合には、その実費とする。

(監事の報酬等)

第7条 監事が理事会及び評議員会に出席したときは、別表1により1日分の報酬及び実費弁償費を支払うことができる。なお、理事会に出席し、同日にあわせて監事業務を行った場合であっても、第2項の報酬及び実費弁償費はこれを支払わないものとする。

- 2 監事が理事会及び評議員会(出席)以外の日において、法人及び施設の指導検査への立会及び運営状況の指導または監査の業務にあたった場合は、別表2により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。
- 3 交通費の実費が、実費弁償費の額を超える場合には、その実費とする。

(費用弁償)

第8条 この法人は、役員及び評議員がその職務の執行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、必要により事前に概算額を支払い、出張終了後精算することができる。

- 2 常勤役員には、通勤に要する交通費として通勤手当を支給し、その計算方法は通勤費支給基準に準ずる。
- 3 役員及び評議員が、法人業務のため出張する場合は、別表3により報酬及び旅費等を支給することができる。
- 4 旅費は、実費を支給する。
- 5 業務遂行に必要な経費を、実費を原則として支給できる。
- 6 旅費は実情を考慮し、増額することができる。

(兼務役員)

第9条 施設の職員を兼務する役員は、施設の職員としての業務を除く法人職務に限り、この規程を適用することができる。

(役員の職務証跡)

第10条 役員は、法人職務証跡資料として、業務報告書の作成に協力するものとする。

(報酬等の支給日)

第11条 非常勤役員及び評議員の報酬等及び常勤役員の旅費は、必要の都度、支払うものとする。

(報酬等の支給方法)

第12条 報酬は、通貨をもって本人に支給又は支払うものとする。

- 2 報酬等は、法令の定めるところによる控除すべき金額及び本人から申し出のあった立替金等を控除して支給する。

(公表)

第13条 この法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第 14 条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行なう。

(補足)

第 15 条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が評議員会の承認を経て、別に定めるものとする。

**附則**

この規程は平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

別表1(出席報酬月額)

名 称	職 務	報 酬	実費弁償費(交通費)
理事長	理事長	月額 50,000 円 (手取額 48,469 円、 源泉徴収額 1,531 円)	1.自動車等の使用距離によって以下の金額を支給する。(距離は最も経済的かつ合理的と認める経路の片道とする) 10km 未満 1,000 円 10Km 以上 30Km 未満 2,000 円 30Km 以上 60Km 未満 3,000 円 60km 以上 5,000 円  2.鉄道、航空機、船舶、タクシーの他の交通は実費精算とする。
理事会出席 報酬等	理 事	5,340 円 (手取額 5,000 円、 源泉徴収額 340 円)	
	監 事	5,340 円 (手取額 5,000 円、 源泉徴収額 340 円)	
評議員会出席 報酬等	評議員	5,340 円 (手取額 5,000 円、 源泉徴収額 340 円)	
	理 事	5,340 円 (手取額 5,000 円、 源泉徴収額 340 円)	
	監 事	5,340 円 (手取額 5,000 円、 源泉徴収額 340 円)	

別表3(出張旅費等)

旅 費	宿泊費
鉄道、航空機、船舶、タクシーの他の交通は実費精算とする。	15,000 円を限度として実費を支給する。